

平和児童遊園ワークショップ通信

第4号



平成26年9月発行 西荻窪町会



町づくりを視野に入れて 安心して遊べる、地域が集う公園に！

8月22日(金)19時より、西荻南区民集会所において『第4回西荻窪平和児童遊園再生整備のためのワークショップ(WS)』を開催。地域住民、杉並区の職員の方々、町会役員等12名が参加しました。

これまでの話し合いの中で出された方向性を、公園の遊具会社の協力で提案図に落とし込み、一同で話し合いました。シンボルとなる遊具があり、防災機能も付加された改修案に、一同「こんな公園あったらいいよね！」という思いを強くしましたが、発生するであろう音の問題、植栽の配置・管理、遊具の維持管理は？といった検討事項も抽出されました。

今後は、杉並区での検討結果を受け、特に公園に隣接した住宅の方々のご意見をいただき、検討事項をひとつひとつクリアしていくようになります。もしかしたら、希望通りにはならないかもしれませんが、どのような形であれ、改修がなされた後も、地域住民の方々と、この公園を中心として「地域の絆」が深まるように活用・維持していきたいと考えています。平和児童遊園の改修については、町会だよりで随時ご報告いたします。皆さま方のご意見等、引き続きお寄せください。



【これまでの流れ】

「暗い・汚い・危ない」と言われていた「西荻窪平和児童遊園」。子どもが安心して遊べる憩いの公園にならないかと地域からの要望を受け、町会で現状を確認。杉並区へ改善要望を提出するなどしてまいりました。



暗かった公園の入り口



改善要望の多いトイレ

第1回WS 5月24日(土)15時～



1回目は、WS開催の経緯、共通認識の確認(現状把握など)をし、参加者の児童遊園に対する意見出しをしました。

第2回WS 6月19日(木)19時～

杉並区が実施した、公園利用者への24時間アンケートの報告がありました(利用者の年齢層、男女比、利用時間帯、目的など)。その他、公園の利用イメージの検討をしました。



杉並区内の公園視察 7月1日(火)



区内の公園5か所を視察して回りました。誰でもトイレや、遊具の設置など、おおいに参考となりました。

第3回WS 7月18日(金)19時～

マイナーなイメージを払しょくする。空間を確保する。防災機能やベンチを確保。想像力の働く遊具の設置など、具体的な方向性を確認しました。



最後のWSでは、遊具の提案図をもとに協議しました

災害時に使える、「かまどスツール」



【WSに関するご意見、お問い合わせ先】西荻窪町会WS担当：北あきのり

西荻窪町会のホームページをご覧ください <http://nishiogikubo-chokai.com>